

今年度の研究について

学校の重点目標 「わかる・できる・楽しい授業」

みんなが学習に主体的に参加できる、学習場面で活躍できる、仲間と学び合える、「課題探究的な学習」を目指していく。

研究テーマ 「先生も子どもも笑顔で、日々を大切にできる研究」

テーマ別ブロック

	テーマ	どんな子どもの姿を目指すか
1	子ども理解・学級経営 学習の基盤としての	課題づくり
2		教材化
3		交流
4		振り返り

<研究のおおまかな流れ>

①学びたいテーマを4つの中から1つ選び、テーマ別ブロックに分かれる。

課題づくり

教材化・教材の工夫

交流

振り返り

②学級の実態をもとに、個人目標を立てる。

例)「課題づくり」ブロックの先生なら…

- ・授業の中で「なぜだろう?」「もっと知りたい!」と自ら問いを立てて、その答えを探すプロセスを楽しむ授業
- ・課題に夢中になり、自分たちで考えたり工夫したりしながら進めていく授業
- ・子どもたちが意見や考えを出し合い、それをつなげていくことで新たな発見や解決策を生み出す授業 など

③テーマ別ブロックごとに「AARサイクル（Anticipation 見通し・Action 行動（授業）・Reflection 振り返り（共有）」を小スパンで行う。

①教科書を持ち寄って、授業のアイデアを出し合う。 Anticipation

②授業をする。 Action

※テーマとかかわる部分について、テーマ別ブロック内で授業公開する。

（日常の授業・指導案必要なし・部分的でOK・録画でもOK・児童の作品やワークシート、ノート等でもOK）

③授業後の振り返りをワークシートに記入する。 Reflection

次に取り組みたいことを決める。 Anticipation



④ テーマ別ブロックの学びを、発表する。（時期は各ブロックで決める）